

「自宅療養者への医療提供 ～訪問看護の視点から～」

2021年11月1日（月）

東京都訪問看護ステーション協会

椎名美恵子



本日の内容

1, 東京都からの事業委託の流れ

2, ステーションに対する周知方法や説明会における質疑対応内容

3, 医師会等との関係団体との連携

4, 各地区で実施している訪問調整の事例から



訪問看護師による自宅療養者等への健康観察について

現状

- 都は、令和3年4月下旬から、地区医師会と保健所、フォローアップセンター（FUC）との連携により、都内全域で、自宅療養者の体調悪化時に速やかに地域の医師等による電話・オンラインや訪問での診療を受けられる体制を構築し、自宅療養者に対する医療支援を実施
- 7月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の陽性者数の大幅な増加に伴い、自宅療養者及び本事業での医療支援件数も急増
- 酸素濃縮装置を必要とする患者や入院先が当日に決まらず、自宅で待機する者も発生

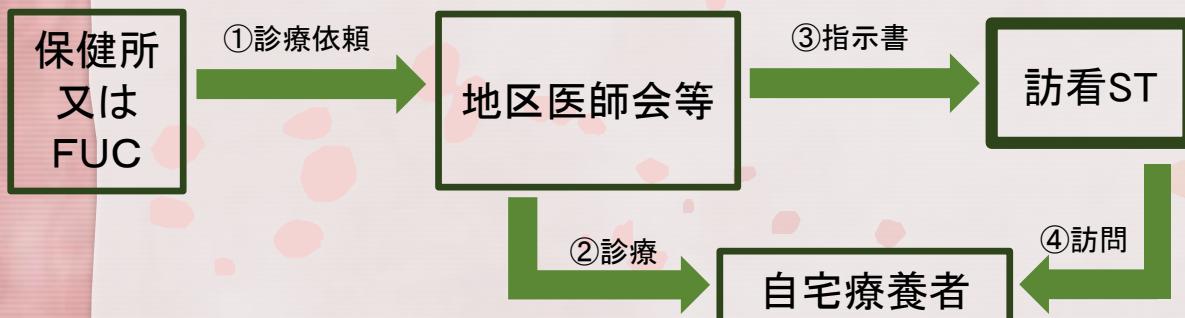
課題

- 酸素濃縮装置を必要とする患者に対し、医師が装着後、日々訪問して状態観察を行う必要があるが、地区医師会や委託業者が毎日往診する体制を確保することは困難
- 8月に入り、毎日約300人以上の入院待機者が生じており、急激な体調悪化が発生するリスクがあることから、待機者への健康観察が必要

訪問看護師と連携し、日々訪問が必要な自宅療養者や入院待機者等の健康観察を行う

運用イメージ案

(1) 自宅療養者への訪問（診療報酬は別途請求可）



(2) 入院待機者等への訪問（診療報酬対象外）



◆ 訪問実績に応じた単価契約（報告書作成経費含む）

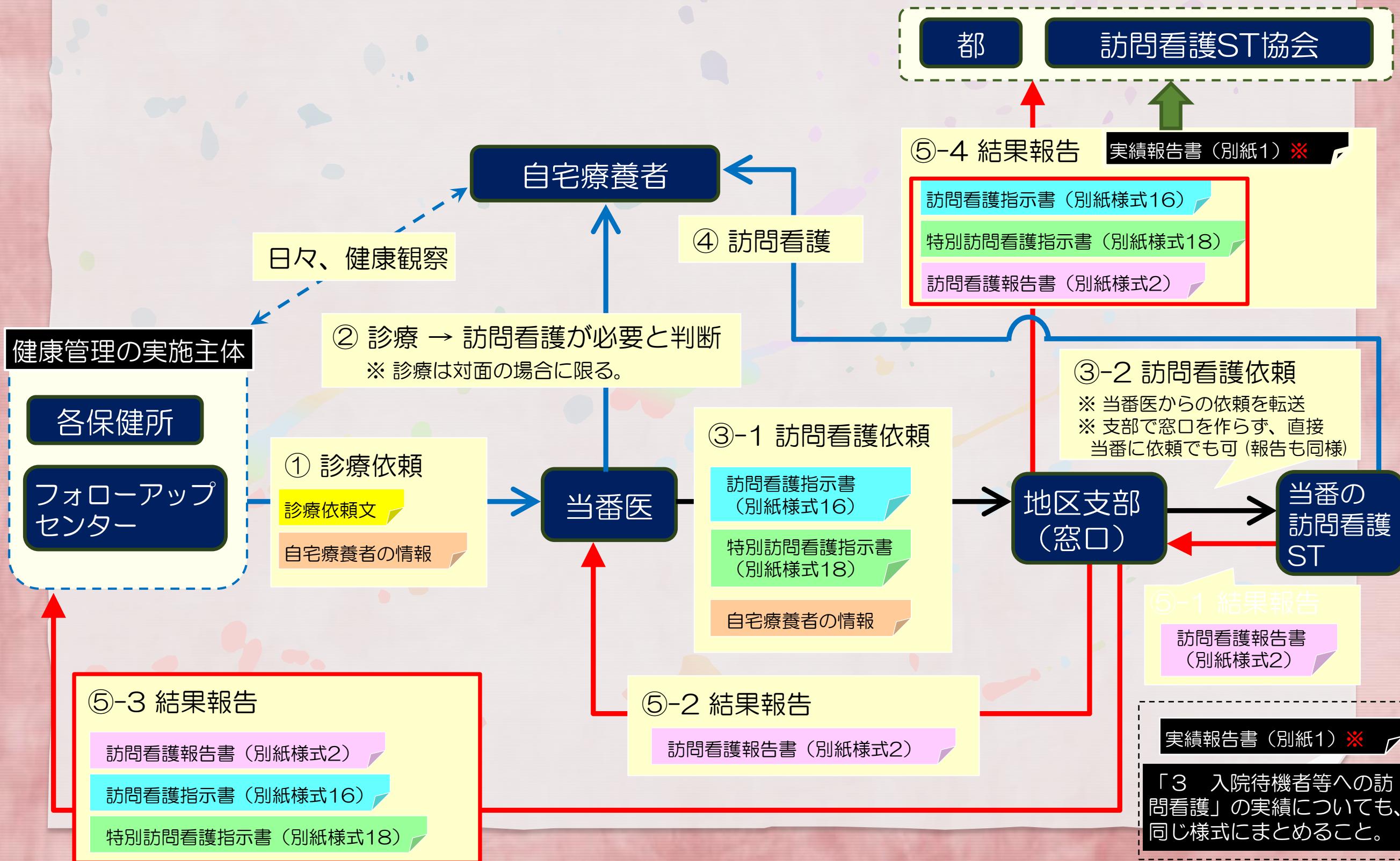
◆ 支援対象となるのは、1つの訪看STで患者1名につき1回まで（在宅酸素療法を導入した場合を除く）

◆ (1) (2) どちらか一方のみの実施でも可

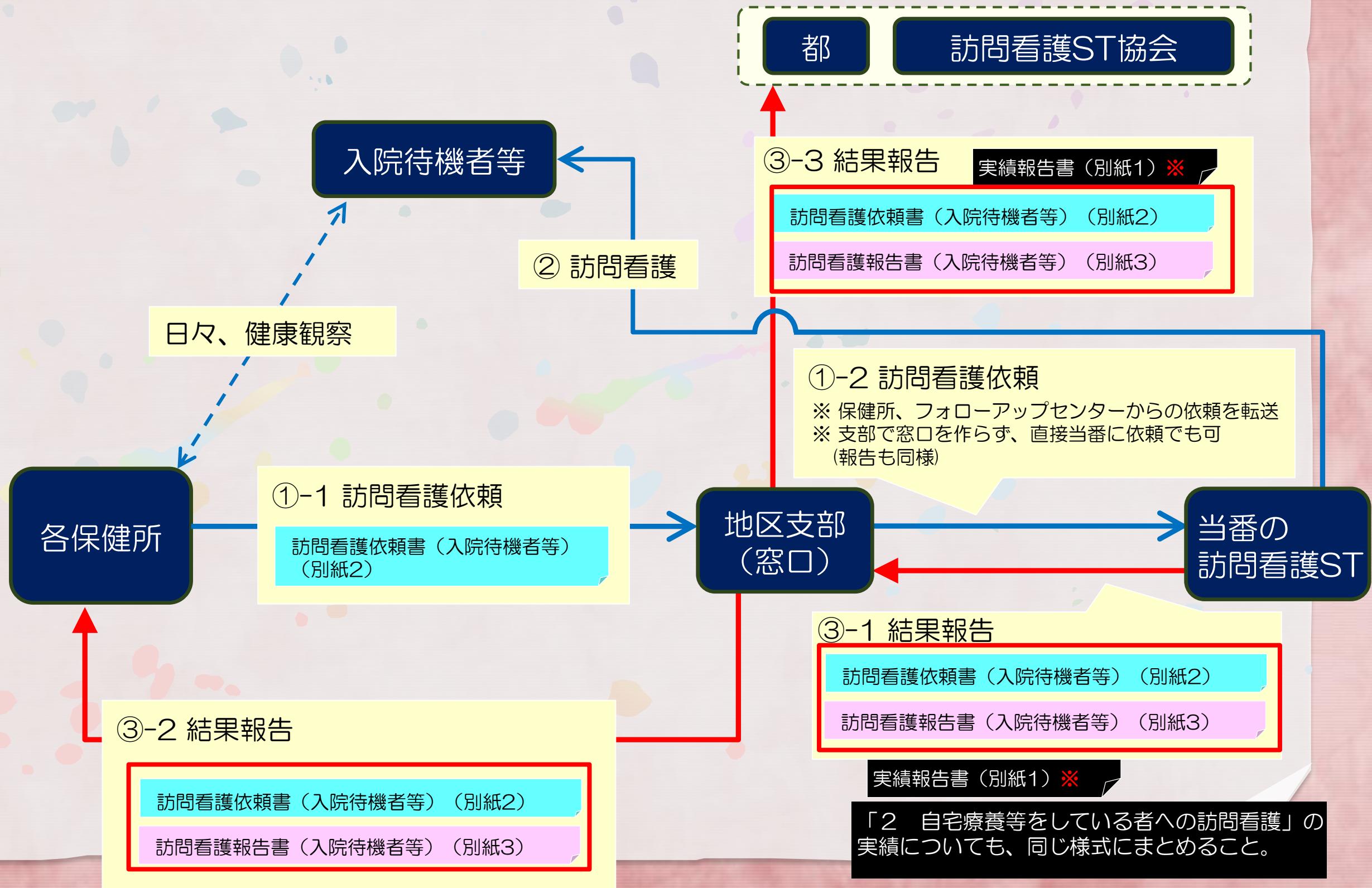
◆ 実施時期 8月中旬より開始

◆ 委託先 一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会
※地区支部ごとに各地区医師会と調整のうえ当番体制等を構築

(1) 自宅療養等をしている者への訪問看護 (診療報酬を別途請求可)



(2) 入院待機者等への訪問看護 (診療報酬対象外)



参加事業者一覧

自宅療養者等への訪問看護業務委託に係る参加事業者一覧

作成(更新)日		実施形態 (該当するもの 全てに○)	医師の指示書による訪問看護
			保健所の依頼による訪問看護
地区支部名		当番表作成 担当者氏名	
電話番号		メールアドレス	

参加する訪問看護ステーション一覧

No.	所属（訪問看護ST名）	電話番号	メールアドレス	対応可能時間		備考
				曜日	時間帯	
例	〇〇訪問看護ステーション	070-xxxx-xxxx	xxxx@xxx.jp	平日	10:00~18:00	
1						
2						
3						
4						

医師の指示書で訪問看護の報告

メール送付先 医師 + 窓口担当 + ステーション協会 + 東京都

(別紙様式16)

訪問看護指示書 在宅患者訪問点滴注射指示書

※該当する指示書を○で囲むこと

訪問看護指示期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)
 点滴注射指示期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)

患者氏名	生年月日		年	月	日
患者住所	電話 () -				
主たる傷病名	(1)	(2)	(3)		
現在の状況 (該当項目に○等)	病状・治療 状				
	投与中の薬剤 の用量・用法	1.	2.	3.	4.
	日常生活 自立度	寝たきり度	J1 J2 A1 A2 B1 B2 C1 C2	認知症の状況	I IIa IIb IIIa IIIb IV M
要介護認定の状況	要支援 (1 2)	要介護 (1 2 3 4 5)			
押療の深さ	DESIGN分類 D3 D4 D5 NPUAP分類 III度 IV度				
装着・使用 医療機器等	1. 自動換液ポンプ装置	2. 透析液供給装置	3. 酸素療法 (1 /min)		
	4. 吸引器	5. 中心静脈栄養	6. 輸液ポンプ		
	7. 経管栄養 (経鼻・経胃 : サイズ)	日に1回交換			
	8. 留置カテーテル (部位 : サイズ)	日に1回交換			
	9. 人工呼吸器 (調圧式・換圧式 : 設定)				
	10. 気管カニューレ (サイズ)				
	11. 人工肛門	12. 人工膀胱	15. その他 ()		

留意事項及び指示事項

I 療養生活指導上の留意事項

II 1. リハビリテーション
 2. 褥瘡の処置等
 3. 装着・使用医療機器等の操作援助・管理
 4. その他

在宅患者訪問点滴注射に関する指示 (投与薬剤・投与量・投与方法等)

緊急時の連絡先
不在時の対応

特記すべき留意事項 (注:薬の性状作用・副作用についての留意点、薬剤アレルギーの表記、変更理由・継続的変更理由を記載し場合別添付書類の添付等がなければ記載して下さい)

他の訪問看護ステーションへの指示
(無 有 : 指定訪問看護ステーション名)
 たんの投与等実施のための訪問介護事業所への指示
(無 有 : 訪問介護事業所名)

上記のとおり、指示いたします。

年 月 日

医療機関名
住 所
電 話
(FAX)
医師氏名

事業所 印

様式16

(別紙様式18)

特別訪問看護指示書 在宅患者訪問点滴注射指示書

※該当する指示書を○で囲むこと

特別看護指示期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)
 点滴注射指示期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)

患者氏名	生年月日		年	月	日
病状・主訴:					
一時的に訪問看護が機関に必要な理由:					
留意事項及び指示事項 (注:治療計画の修正内容・副作用についての留意点があれば記載して下さい)					
点滴注射指示内容 (投与薬剤・投与量・投与方法等)					
緊急時の連絡先等					

上記のとおり、指示いたします。

年 月 日

医療機関名
電 話
(FAX)
医師氏名

事業所 印

様式18

保健所からの（自宅待機者の状態観察依頼）

メール送付先 保健所+ 窓口担当 + ステーション協会 + 東京都

別紙2

訪問看護依頼書（入院待機者等）

依頼日	
依頼元（●●保健所又はフォローアップセンター） → 依頼先（訪問看護ステーション協会・地区支部名）	
「自宅療養者等への訪問看護業務委託」（3福保感防第1262号）に基づき、下記のとおり新型コロナウイルス感染症患者（入院待機者）への訪問看護を依頼します。	
1 対象者	<input type="checkbox"/> は該当部分に✓を入れる。
(1) 氏名	
(2) 氏名(フリガナ)	
(3) 住所	
(4) 電話番号	
(5) 性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他
(6) 生年月日(西暦表記)	
(7) 発症日	
(8) パルスオキシメーター所持	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
2 訪問看護を依頼する理由・依頼内容	
3 添付資料	<input type="checkbox"/> は該当部分に✓を入れる。
<input type="checkbox"/> 疫学調査票	
<input type="checkbox"/> 発生届	
<input type="checkbox"/> 健康観察記録	
<input type="checkbox"/> その他 → 内容	
4 問合せ先	
保健所名等(フォローアップセンターの場合はその旨を記載)	
部署名	
担当者名	
電話	
メールアドレス	

仕様書 別紙2

別紙3

訪問看護報告書（入院待機者等）

報告日			
依頼元（●●保健所又はフォローアップセンター） ← 依頼先（訪問看護ステーション協会・地区支部名）			
「自宅療養者等への訪問看護業務委託」（3福保感防第1262号）に基づき、依頼を受けた訪問看護について、下記のとおり報告します。			
1 対象者	<input type="checkbox"/> は該当部分に✓を入れる。		
(1) 氏名			
(2) 住所			
(3) 性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他		
(4) 生年月日(西暦表記)			
2 対応日時			
(1) 対応月日			
(2) 対応時間(24時制表記)			
3 実施結果	<input type="checkbox"/> は該当部分に✓を入れる。		
バイタル	① 体温	°C	
	② 脈	回/分	問題 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり →
	③ 血圧	mmHg	
	④ SpO ₂	%	問題 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり →
	⑤ 呼吸数	回/分	問題 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり →
服薬状況			
その他	① 水分摂取状況	問題 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり →	
	② 食事摂取状況	問題 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり →	
	③ 労作時呼吸困難	問題 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり →	
その他所見			
4 問合せ先			
地区支部名			
訪問看護ステーション名			
看護師名			
電話			
メールアドレス			

仕様書 別紙3

窓口担当者からの報告書（毎日）

別紙1

自宅療養者等への訪問看護業務委託 実績報告書（総括表）

実施日			
地区支部名			
報告書作成担当者名			
連絡先（電話番号）			
実施内容	件数	（内訳）健康観察の実施主体	
自宅療養等をしている者への訪問看護	件	保健所	件
		フォローアップセンター	件
		その他	件
入院待機者等への訪問看護	件	保健所	件
		フォローアップセンター	件
		その他	件
合計	件	保健所	件
		フォローアップセンター	件
		その他	件



訪問看護事業所 事業所取り組み状況

※パターン1: 医師の指示書による訪問看護(診療報酬は別途請求可)

※パターン2: 保健所等の依頼による訪問看護(診療報酬対象外)11/1時点

	地区支部名	開始日	協カステーション数	(1)事業実施数	(2)事業実施数
1	葛飾区	8月26日	12	2	30
2	江戸川区	9月3日	12	5	3
3	新宿区	8月26日	9	5	0
4	大田区	9月1日	11	0	2
5	板橋区	9月2日	5	1	1
6	豊島区	8月31日	8	2	2
7	江東区	9月7日	10	0	1
8	文京区	9月1日	2	0	0
9	杉並区	9月3日	3	0	0
10	世田谷区	9月3日	13	0	0
11	千代田区	9月6日	2	3	0
12	目黒区	9月8日	3	0	0
13	稲城市	9月13日	2	0	0
14	東久留米市	9月13日	3	0	0
15	台東区	10月1日	8	0	0
16	国分寺市	10月1日	2	0	0
17	中野区	10月6日	12	0	0
18	港区	10月25日	4	0	0



2, ステーションに対する周知方法や 説明会における質疑対応内容

< 説明会 8/19・9/16 >

- 他の通常訪問と完全に人や日を分けているか
→ 前後しても防護服の着脱がきちんとできていれば問題ない。
→ むしろ自宅療養者の訪問より、通常訪問のほうがリスク高い
- 他の利用者に陽性者対応を告知しているか。クレームがないか。
→ 告知はしていない。他の感染症対応でもしないから(ex 疥癬、インフル、ノロ)
→ 現時点でクレームはない。
- スタッフが感染した場合の補償などは用意しているか
→ 労災・事業者保険以外はない。できるだけ子供や高齢者と同居していない看護師で対応。

< 研修会(東京都ST協会主催) >

・8/19・8/25・10/20

(7月～自宅療養者訪問の研修動画作成)

<https://vimeo.com/588403838/b28257e7bf>

< 各地区での研修会 >

- ・PPE着脱訓練
- ・地区支部事務局作業への支援
(クラウドシートの活用など)

専用の人員確保ができないので対応できないか

→ その時のタイミング次第で1件だけでも、毎日でなくてもできることから始める。地域で協働しよう！

3, 医師会等との関係団体との連携

<東京都>

8/2 担当課より連絡あり
(東京都医師会からも連絡あり)

電話やオンライン会議複数回



8/19 業務契約

※墨田区等一部の地区は従前からの区独自の事業でおこなっている

<保健所や地区医師会>

区市	現在の対応状況について	協カステーションの数
墨田区	自治体(区市町村)と独自で契約実施している	8
東久留米市	1. 2の併用で実施している	3
港区	1. 2の併用で実施している	4
大田区	1. 2の併用で実施している	10
日野/多摩市	自治体と協議中である	2



4, 各地区で実施している訪問調整の事例から

行政と共に考えたいこと

- ・ 医保請求での訪問; 特別な関係にあるクリニックと事業所で、同一日中に訪問ができない。
- ・ 行政からの健康観察は仕組みがないとなにもできないので、仕組み作り早急に。
- ・ 酸素濃縮器が手に入らないことが頻発する。メーカー、都道府県、自治体ごとに確保などしているが、全体の偏在などは都道府県で管理するなどできないか？
- ・ 入院が決まったあとは保健所フォローが途絶えがちになる。要注意！

訪問看護STが気を付けること

- ・ 医師や保健所への報告や情報共有方法を確認しておく。
- ・ 自身の地域サービスを把握しておく。食事や薬置き配の種類や通訳サービスなど。
- ・ 同居者がいた場合、同居全員感染していると想定して対応する。

→ **地域ステーションの協働で
「できることから始めるよう！」**

熱心にお聴きいただき有難うございました

日頃からの連携を！



Copyright © 2021 Mieko · Shiina All Rights Reserved.